

「買ったたき」を規制し 生活できる単価に

ダンブ労働者

運搬費

実態示し 吉川 参院議員 政府を追及

一日十六時間働いても最低賃金以下の収入しかなく、過積載の原因になっている——日本共産党の吉川春子参院議員は三月十二日の参院予算委員会で、運搬費があまりに低いためダンブ労働者が最低賃金以下の収入しか得られず、法違反まで生んでいる実態をとりあげ、「実態調査し生活できる単価にすべきだ」と迫りました。

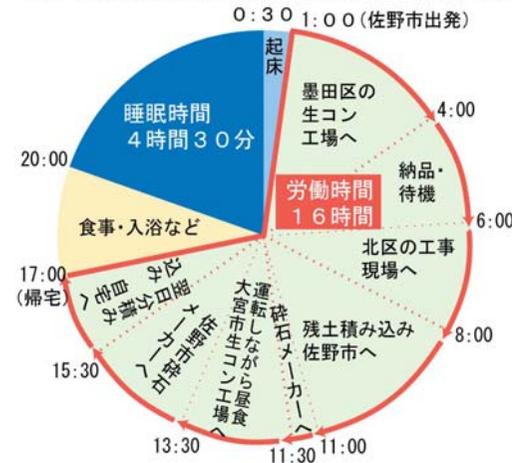
睡眠時間四時間半、昼食もハンドルを握りながら

吉川議員が紹介したのは、都内の生コン工場まで碎石を運ぶ栃木県のダンブ労働者。

睡眠時間四時間半で午前零時半に起床。昼食もハンドルを握りながらとり、午後五時まで十六時間働いても、月収九万六千九百七十六円。最低賃金（月換算で十万円余）に遠く及びません。

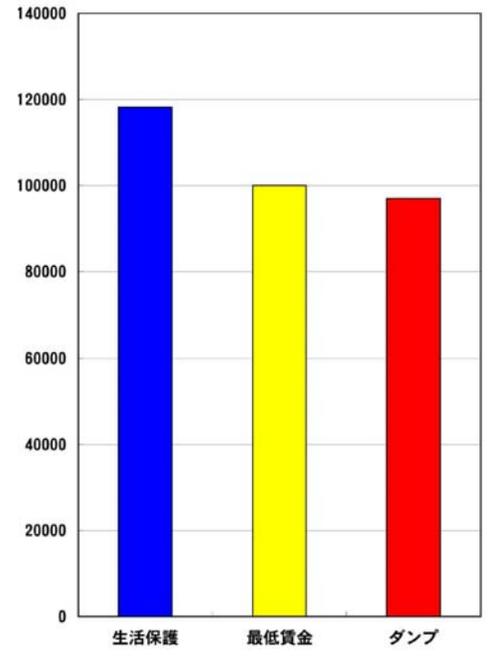
法律に決められた積載量を運んでも、燃料代を差し引くと残りは二千六百五十五円。労働者の多くは碎石メーカー専属なのに「一人親方・自営業者」扱いされ無権利状態で働かされており、単価引き上げを求めることもできないのが現実です。

ダンブ労働者の長時間労働(栃木県のAさんの場合)



過積載の背景に生計費以下の単価押し付けがある ダンブ労働者も公取告示(物流特殊指定)の対象に

栃木県の生活保護・最低賃金・ダンブとの比較



吉川議員の質問に警察庁交通局長は、過積載で検挙された運転者は二〇〇五年は四千六百五十四件あり、依然として深刻な実態を報告しました。

吉川議員は、過積載の背景に生計費以下の単価押し付けがあると指摘。優越的地位にある事業者が「買ったたき」をしてはならないとした公正取引委員会の告示(物流特殊指定)の対象にダンブ労働者もなるといただきました。竹島一彦公取委員長は「なります」と答えました。

吉川議員——最低賃金法の精神を適用すべき 公共事業は一日、四万三千元(ダンブ)——冬柴国交相

さらに吉川議員は、ダンブの労働者性が認められた金沢地裁判決をあげて、「働いているにもかかわらず生活していけないのは問題だ。最低賃金法の精神を適用すべきだ」と強調しました。

柳沢伯夫厚労相は「労働者性があるとしたら、最低賃金以下は許されない」と答弁。冬柴鉄三国土交通相は公共事業の積算では十トンダンブで一日、四万三千元になることを明らかにし、「質問を重く受けとめさせていただく」と答えました。



質問する吉川春子議員 = 3月12日、参院予算委

日本共産党
北関東ブロック
事務所ニュース
2007年3月 No. 45

日本共産党

いまこそ人間らしく働けるルールを

日本共産党が緊急提案

雇用・労働問題が日本社会を揺るがす大問題となるなか、日本共産党は、「いまこそ人間らしく働けるルールを——日本共産党の緊急提案」を発表しました。緊急提案の概要は……

1、異常な長時間労働を是正する

第一は、異常な長時間労働の是正です。残業代横取り、長時間労働野放しの「ホワイトカラー・エグゼンプション」は絶対に提出すべきではありません。サービス残業では、この五年間で未払い金八百五十一億円を支払わせましたが、いまもサービス残業は広がっており、悪質な企業名公表や、不払い残業代の二倍支給などペナルティー強化を提案。

さらに、労働基準法に残業時間の上限がない異常さも指摘し、当面、大臣告示にもある年間三百六十時間以内を法定化するよう要求。また、残業代の割り増しを現行の25%増から50%増にすること、EU（欧州連合）のように、連続休息時間の最低十一時間確保の法定化など、新しい法改正の提案をしています。

2、使い捨ての働かせ方をなくす——非正規で働く人たちの権利を守り、均等待遇と正社員化をすすめる

第二は、使い捨ての働かせ方をなくす問題です。非正規労働がワーキングプアの一環深

人間らしい最低限の生活を保障することは国の責任

どこで働き、どんな職業に就いていようと、人間らしい最低限度の生活を保障することは国の責任です。生活保護以下の最低賃金を抜本的に引き上げ、全国一律最賃にしていきましょう。深刻な長時間労働の是正、貧困、ワーキングプアの問題を打開するために引き続き取り組んでいきます。

刻な源泉です。偽装請負の是正では、受け入れ企業の責任を厳しく問う法規制が必要で、偽装した企業は、「派遣可能期間の制限」などの条件をつけずに正社員化すること、偽装受け入れ企業への罰則などを要求。

また、労働者派遣を「臨時的・一時的」に限定したものにすることや、「短期・反復」の雇用契約の規制、登録型派遣による日雇い型雇用のもとで苦しんでいる「若者を救い出す」ことが政府の責任です。

3、最低賃金を引き上げ、全国一律最低賃金制を確立する

第三に、最低賃金を引き上げ、全国一律最低賃金制を確立する重要性について提案しています。



吉川 春子
党中央委員・参議院議員



野村せつ子
党栃木県副委員長
県政対策委員長



小池 一徳
党栃木県くらし・
雇用対策委員長

建交労・関東ダンプ栃木支部で実情聞く



吉川参院議員は二月十七日、予算委員会での質問準備のため、全日本建設交連一般労働組合・関東ダンプ協議会栃木支部を訪れ、山内健人書記長やダンプ運転手らから、代車制度、就労形態、青ナンバーと白ナンバー、ダンプ問題の社会に与える影響など、ダンプ運転手の実情について説明を受け懇談。深刻な実態を聞きました。

また、国会質問を傍聴したダンプ労働者らは「今回の国会答弁を運動に生かしていきたいと思えます。吉川さんの行動力はホントすごかったです。」と語っていました。

詳しくは、日本共産党のホームページ
<http://www.jcp.or.jp/> をご覧ください。